

【募集期間】

2026年4月1日(水)10時 ～ 6月15日(月)23時59分

【募集演題内容】

ALSO/BLSO・周産期医療・多職種連携・地域連携に関する「実践報告」または「研究報告」で、発表時点で未発表のものに限ります。

- * 実践報告：ALSO/BLSO・周産期医療・多職種連携・地域連携に関係する実践をまとめたもので、他施設で同様の実践する上で参考になるような具体的な内容の報告。実践の目的や目標、対象者、実際に実践した内容やどうしてそのような内容にしたのか等、「実践したこと」がわかるように具体的に説明し、実践して見えてきた課題や今後の展望等を報告してください。
- * 研究報告：ALSO/BLSO・周産期医療・多職種連携・地域連携に関係する調査・研究をまとめた報告。研究目的、方法、結果、考察を報告してください。

【発表形式】

1. 口演あるいはポスターのいずれか(またはどちらでも可)を選択してください。
2. お申込みの発表形式とは異なる発表をお願いする場合があります。最終的な決定は、第11回学術集会査読委員にご一任ください。
 - 口演形式について：1 演題10分（発表6分・質疑応答4分）を予定しています。
 - ポスター形式について：待機時間を設定して質疑応答対応を予定しています。現地参加できない場合は、A4サイズ1枚のパワーポイントにまとめて音声入力をお願いする可能性があります。
3. 口演・ポスター発表共に会場での対面あるいはZoomによるオンラインを予定しています。
4. 発表に関する詳細は採択演題決定後にお知らせします。

【演題テーマ】

1. チームビルディング
例：メンタルモデルの共有（ALSO/BLSOのコース開催について、混合病棟での分娩取扱い/他部署とのシミュレーションでのメンタルモデルの共有について）など
2. プレホスとインホスの連携（シンポジウム）：査読委員からの推薦
3. ALSO/BLSOのセッションの進め方の工夫（シンポジウム）
例：対面コースでのキャンディデイトのステップアップの取り組みなど
4. インストラクター/キャンディデイトのキャリアが実臨床・業務にどのように生きているか
5. その他

※第10回の学術集会後のアンケートでは「学術的な内容」「所属施設でのシミュレーションや医療安全の落とし込み」について要望のあるテーマでした。シミュレーションを行った経験だけではなく、そのことにより何が以前より改善されたのか/現場への影響、などを可能な限り加えてください。

【応募資格】

1. 筆頭発表者は、ALSO会員である必要があります。
2. 筆頭発表者がALSO会員でない場合は、学術集会事務局あてに (shuseiki3@gmail.com) に件名：ALSO学術集会発表希望 本文に氏名・所属・職種・メールアドレスを明記してご連絡ください。学術集会事務局より発表申し込み費用5000円の振込先情報をお知らせします。（学術集会参加登録費とは異なりますのでご注意ください）。共同演者にALSO会員を加えてください。
3. 一般演題において、筆頭者となることができるのは 1 題のみとなります。（複数演題の共同発表者になることは可能です。）
3. 筆頭発表者は必ず事前参加登録を行い、9月 20日（日）までに参加費の支払いを完了させてください。

【演題登録方法】

ホームページを確認してGoogleフォーム(<https://forms.gle/2n537X4FwKFJiDjB9>)からご登録ください。登録は1回のみです。

【抄録作成について】

抄録の本文は テンプレートを使用し1,000 字以内で作成してください。なお、全体でA4 1枚以内に収めるようにしてください。本文中に、倫理的配慮や利益相反についても必ず記載してください。句読点は「、」「。」で統一してください。改行も利用できますが、紙面の都合上、最終的なレイアウトは事務局にご一任ください。

* 実践報告、症例報告：本文は【緒言/背景/目的】 【症例/実践内容】 【考察】 【倫理的配慮】 【COI開示】の形式を参考に記述してください。

* 研究報告：本文は【研究目的】 【方法】 【倫理的配慮】 【結果】 【考察】 【COIの開示】の形式で記述してください。

※基本的に提出された内容をそのまま抄録集に掲載します。ミスタイプがあってもそのまま掲載されますので、登録内容を確認してください。

【倫理的配慮の記載について】

■倫理審査委員会の承認を得ている場合

「承認を得た倫理審査委員会名（承認番号）」と記載してください。

■倫理審査を受審していない場合

倫理的配慮に基づいて行っている（自由意思の尊重、プライバシーの保護、インフォームドコンセント、対象が受ける利益や負担への配慮など）ことを具体的に記載してください。

例：

*実践報告：「受講者に学会で発表することについて口頭で了承を得た。」や「個人が特定できないように配慮した。」など。

*研究報告：「対象者に研究目的、方法、結果の公表について文書で説明し、同意を得た」「結果の公表について…に説明し、許可を得た」「個人や施設が特定されない」など。

■倫理的配慮が不要な場合

スコーピングレビューなどのように倫理的配慮が不要な場合には、その旨を記載してください。

【利益相反の開示について】

演題登録の際に、COIの有無を申告してください。有の場合、その内容を記載してください。

COIの有無は、演題登録時から遡って過去1年以内に発表内容に関して企業や営利を目的とする団体から発表者に経済的な利益等の提供があったかどうかで判断してください。

【査読基準】

演題の査読は、以下の視点で行います。

*実践報告

- ・本学会の趣旨と適合する内容であるか
- ・倫理的配慮がなされているか
- ・実践の目的や目標が記述されているか
- ・対象者や具体的実践内容が記述されているか
- ・課題や展望が記述されているか
- ・記述内容が明確か

*研究報告

- ・本学会の趣旨と適合する内容であるか
- ・倫理的配慮がなされているか
- ・研究目的が記述されているか
- ・方法が記述されているか
- ・結果・考察が記述されているか
- ・目的・方法・結果・考察に一貫性があるか

【演題採択の通知】

演題の査読は査読基準に従って順次行います。査読結果は7月中旬ごろまでにE-mailにてお知らせします。場合によっては修正をお願いする場合があります。最終的な採択の可否は8月上旬までにお知らせします。